



「さっぽろっ子環境ウイーク」における本校の取組

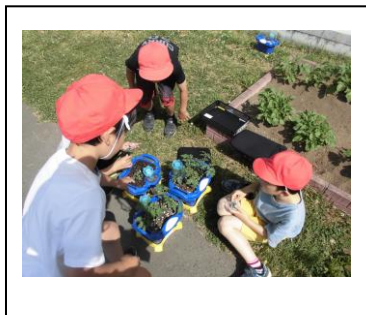
宣言

各教科での課題探究的な学習の充実を図り、環境を守り育てようする態度を育む

各学年の取組



生活科「なかよくなるうね 小さなともだち」の学習で、ダンゴムシを育てました。木の根本や石の下など、普段目にしない場所に小さな生き物が生きていることを発見しました。小さな生き物の命を大切にする気持ちをはぐくむことができました。



生活科「めざせ！やさい作り名人」の学習で、ミニトマトの観察をしました。色や形・大きさ等をよく見えています。鼻を近づけて、ミニトマトのにおいがすることに気付いている子もいました。



総合的な学習の時間「真駒内の自然調査し隊」の学習では、真駒内公園の生き物探しをしました。身近な公園に様々な生き物がいるということに驚き、さらに詳しく調べるなどして、多くの発見をしていました。



道徳「アカウミガメの来るはま」の教材を読みました。友達と考えを交流したりして、自然と共に生きることはどういうことなのかについて、考えを深めました。



総合的な学習の時間「花いっぱい運動」を行いました。自分たちの手で植えたマリーゴールドのお世話をしています。水やりだけでなく、気づいた子から雑草抜きをしている子もいました。



総合的な学習の時間「サケとともに生きる街・真駒内」の学習でサケの稚魚の放流を行いました。5年生から卵の状態から大切に育ててきました。真駒内に戻ってくることを願って放流しました。